

Protectosil® DRY CIT

セメント向け、高効率に水中への再分散が可能な腐食抑制剤

代表的物性値（規格ではありません）

特性および試験方法	値	単位	測定方法
外観	流動的な白色粉末		
嵩比重	340-540	g/L	DIN EN ISO 60
残留水分	<2	%	
SiO ₂	約 13.0	(w/w)	—
水溶性塩化物	<0.1	%	EN 480-10
pH(10%添加時)	6-9		
乾燥重量比率	98<	%	

特徴

Protectosil® DRY CIT は、下記の特徴を有します。

- ・セメントベースのプレミックスの添加剤として用いられ、広範囲にわたり、コンクリート中の鉄筋を水や塩化物に起因する腐食から守ります。
- ・鉄筋、セメント成分、コンクリート中に含まれる計算化合物と化学結合を形成します。
- ・コンクリートの外観や表面の色には影響を与えません。
- ・コンクリートの水蒸気透過性は保持します。
- ・コンクリートの吸水性を著しく低下させます。
- ・補修モルタルの作業性を改善します。

Protectosil® DRY CIT は、下記の用途に対して、特に効果を発揮します。

- ・補修モルタル
- ・セメントの改質
- ・鉄筋コンクリート
- ・駐車場、入口、バルコニー、歩道、棧橋、橋梁、その他鉄筋補強コンクリート材料
- ・海岸付近の高湿気環境下の構造物や融雪剤を多く使用する場所

使用方法

Protectosil® DRY CIT は、一般のセメント粉末用コンクリートミキサーにて使用できますが、セメントやモルタル中の他添加剤との相性については事前にテストいただくことをお勧めします。例として、セメント重量に対して 2-5%、補修モルタルの重量に対して 0.3-1.0% の添加量が推奨です。



Protectosil® DRY CIT を混合した製品は容易に水と混ざりますが、過度な強制混合は空気を巻き込むのでお勧めしません。混合後の練り沖時間は 1-5 分です。

Protectosil® DRY CIT が添加されている配合製品を混ぜながら水を入れてください。

SGK(Schweizerische Gesellschaft Fur Korrosionsschutz)での実証実験では、Protectosil® DRY CIT は優れた効果をもたらしました。塩化ナトリウム水溶液を用いたドライ/ウェットサイクル試験(0.1 モル塩化ナトリウム水溶液に 2 日間浸漬後、35°Cで 5 日間乾燥)と行ったところ、腐食防止効果を 520 日間維持いたしました。本試験の 2 サイクルは約 1 年間の実環境中の曝露に相当しますので、約 35 年間腐食効果を維持することを意味します。

各国法規登録状況

Country	登録状況
EINECS/ELINCS (EU)	登録
AICS (オーストラリア)	未登録
DSL/NDSL (カナダ)	要確認
PICCS (フィリピン)	登録
TSCA (米国)	登録
IECSC (中国)	要確認
ENCS (日本)	登録
ECL (韓国)	登録

安全性および取り扱い

製品安全データシート (SDS) の安全性および毒性データに加えて、適切な輸送、保存および使用に関する情報を精読してください。

包装および保存

Protectosil® DRY CIT は、15 kg 紙袋に梱包されており、675kg(45 袋)/1 パレットとして提供可能です。乾燥環境下のもと、30°C以下で保管することを推奨いたします。

2024/8/20